

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-25158

(43) 公開日 平成11年(1999) 1月29日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

識別記号

F I

G 0 6 F 17/60

G 0 6 F 15/21

D

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 14 頁)

(21) 出願番号 特願平9-174885

(22) 出願日 平成9年(1997) 6月30日

(71) 出願人 393031243

伊野 良一

東京都杉並区方南2丁目4番7号

(72) 発明者 伊野 良一

東京都杉並区成田東1丁目25番8号

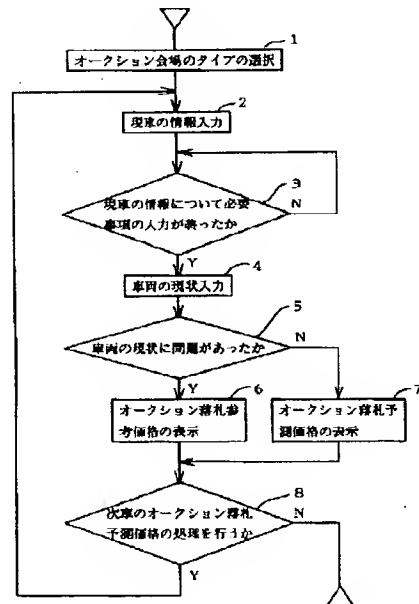
(74) 代理人 弁理士 大塚 明博 (外1名)

(54) 【発明の名称】 中古車のオークション落札価格の予測演算処理方法、及び中古車のオークション落札価格の予測演算処理装置

(57) 【要約】

【課題】 オークション未経験者でも簡単に、オークションに出品された全中古車に対して個別的に各中古車の車両データとそれぞれのオークション会場における出品された中古車に対する総合評価点に基づいて、各オークション会場における落札価格を適格に予測できるようにする。

【解決手段】 オークション会場に出品された中古車の所定データと、当該オークション対象車に対して評価された評価点に基づいて演算された予め記憶されている基本価格から基本オークション価格を求め、前記基準走行距離に対する前記オークション対象車のオークション出品時までの走行距離の多少に基づいて1km当りの加減算額に基づいた走行距離実績額及び前記オークション対象車のオークション出品時の残存する車検の期間の1月当りの加算額に基づいた車検残存期間加算額を加算して修正してオークション落札価格を予測演算する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 オークション会場に出品された中古車のメーカー名、車種、タイプ、初年度登録年月、排気量を特定し、当該オークション対象車の車種について予め記憶されたグレードの中から当該オークション対象車のグレードを選定し、前記メーカーの前記車種タイプ、前記グレードとして発売された予め記憶されているボディカラーの中から当該オークション対象車のボディカラーを選定し、当該オークション対象車のミッション、エアコンの有無、サンルーフの有無を特定すると共に当該オークション対象車の現走行距離を特定し、車検満了年月を特定することによってオークション対象車の特定を行い、当該オークション対象車に対して当該オークション会場で評価された評価点を入力し、

前記オークション対象車の車種タイプ、初年度登録年月、グレード、ボディカラー、初年度登録年月からオークション出品時までの当該車種の基準走行距離、ミッション、エアコンの有無、サンルーフの有無に基づいて演算されて予め記憶されている基本価格を当該オークション会場の評価点に基づいて演算した基本オークション価格に、前記基準走行距離に対する前記オークション対象車のオークション出品時までの走行距離の多少に基づいて1km当りの加減算額に基づいた走行距離実績額及び前記オークション対象車のオークション出品時の残存する車検の期間の1月当りの加算額に基づいた車検残存期間加算額を加算して修正してオークション落札価格を予測するようにした中古車のオークション落札価格の予測演算処理方法。

【請求項2】 上記オークション会場は、大規模会場、中規模会場、小規模会場、メーカー系会場、テレビオークションのいずれかである請求項1に記載の中古車のオークション落札価格の予測演算処理方法。

【請求項3】 上記基本オークション価格は、上記各オークション会場で異なった価格である請求項1又は2に記載の中古車のオークション落札価格の予測演算処理方法。

【請求項4】 上記オークション落札予測価格に対して、落札予測下限価格と、落札予測上限価格を共に算出できるようにしたものである請求項1、2又は3に記載の中古車のオークション落札価格の予測演算処理方法。

【請求項5】 予め記憶されている多数の製造メーカーの中からオークション対象車の製造メーカーを選択する製造メーカー選択手段と、前記製造メーカー選択手段において選択した製造メーカーに基づいて、予め記憶されている該製造メーカーの車種タイプの中からオークション対象車の車種タイプを選択する車種タイプ選択手段と、当該オークション対象車の初年度登録年月を入力する初年度登録年月入力手段と、当該オークション対象車の排気量を入力する排気量入力手段と、前記車種タイプ選択手段によって選択したオークション対象車の車種タ

イプに基づいて、予め記憶されている当該車種タイプに存在する複数のグレードの中からオークション対象車のグレードを選択するグレード選択手段と、前記グレード選択手段によって選択されたグレードに基づいて、予め記憶されている複数のボディカラーの中から当該オークション対象車のボディカラーを選択するボディカラー選択手段と、ミッションの種類を入力するミッション入力手段と、エアコンの有無、サンルーフの有無を入力するエアコン・サンルーフ入力手段と、製造メーカー、該製造メーカーの車種タイプ、初年度登録年月、排気量、グレード、ボディカラー、ミッションの種類、エアコン・サンルーフの有無に基づく基本データに基づいて演算された個別の基本価格を予め記憶しておく基本価格記憶手段と、オークション対象車のオークション出品時の現車走行距離を入力する走行距離入力手段と、車検満了年月を入力する車検満了年月入力手段と、当該オークション会場で評価された当該オークション対象車の評価点を入力する評価点入力手段と、前記基本価格記憶手段に記憶されているデータの中から前記製造メーカー選択手段によってメーカーの入力、前記車種タイプ選択手段によって車種タイプの入力、前記初年度登録年月入力手段によって初年度登録年月の入力、前記排気量入力手段によって排気量の入力、前記グレード選択手段によってグレードの入力、前記ボディカラー選択手段によってボディカラーの入力、前記ミッション入力手段によってミッションの種類の入力、前記エアコン・サンルーフ入力手段によってエアコン・サンルーフの有無の入力に基づいて選択された基本価格を前記評価点入力手段によって入力される当該オークション会場の評価点に基づいて基本オークション価格を演算し、該基本オークション価格に、前記走行距離入力手段によって入力される基準走行距離に対して当該オークション対象車のオークション出品時までの走行距離の多少に基づいて1km当りの加減算額に基づいた走行距離実績額及び車検満了年月入力手段によって入力される車検満了年月に基づく前記オークション対象車のオークション出品時の残存する車検の期間の1月当りの加算額に基づいた車検残存期間加算額を加算して修正するオークション落札予測価格演算手段と、によって構成してなる中古車のオークション落札価格の予測演算処理装置。

【請求項6】 上記オークション会場は、大規模会場、中規模会場、小規模会場、メーカー系会場、テレビオークションのいずれかである請求項5に記載の中古車のオークション落札価格の予測演算処理装置。

【請求項7】 上記基本オークション価格は、上記各オークション会場で異なった価格である請求項5又は6に記載の中古車のオークション落札価格の予測演算処理装置。

【請求項8】 上記オークション落札予測価格に対して、落札予測下限価格と、落札予測上限価格を共に算出

できるようにしたものである請求項5、6又は7に記載の中古車のオークション落札価格の予測演算処理装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、中古車を競争入札販売方式であるオークションに出品したときの落札予測価格を演算する中古車のオークション落札価格の予測演算処理方法、及び中古車のオークション落札価格の予測演算処理装置に関する。

【0002】

【従来の技術】経済事情の変化に伴い自動車産業は拡大し、それに伴い中古車市場も肥大化している。このように中古車市場が大きくなった今日、中古車をユーザーから下取り等で買い入れる業者は、規模がそれぞれで、小規模業者の場合、販売店舗に在庫できる台数が限られ多くの台数を在庫できない場合や、小規模業者の場合、必ずしも販売力を持っていない場合があり、ユーザーから買い取った中古車を他の業者に販売して中古車在庫の回転を良くすることが希望されている。また、大規模業者の場合も、ユーザーから買取れる中古車の種類はある程度限られ、ユーザーの希望する車種を入手するには全国的規模で入手の機会を得ることを希望している。

【0003】そこで、現在、中古車市場に置いては、自社にとって不要となった在庫中古車を適性価格で他の業者に販売したり、自社の購入希望する中古車を他の業者の在庫より広く求める機会を与えるオークションが全国各地で各種規模で定期的に行われている。このオークション会場は、大きく分けて5種類ある。1は大規模会場、全国の主要オークション会場がそれで、2は中規模会場、出品台数が1000台程度の会場がそれで、3は小規模会場、出品台数が500台程度の会場がそれで、4はメーカー系会場、メーカー系企業（例えば、トヨタ系）等が主催する会場、5はテレビオークションで、衛星放送による画像オークションがそれである。実際のオークション価格は、同じ中古車であっても出品するこれら各種オークション会場によって微妙に異なっている。

【0004】また、この各種オークション会場では、出品されてくる中古車の総合評価を行う評価委員がいて、この評価委員が当日出品された中古車の総合評価点をつけてオークション査定を行っている。この総合評価点が当該オークション会場では重要であり、この出品された全中古車の個々の中古車に対する総合評価点は、オークションを開始する前に、オークションに参加する各業者に提示される。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】このようなオークション会場では、出品された全中古車のそれぞれの落札価格は、オークションが終了してみないと分からないものであるが、参加する業者としては、事前にオークションの

落札価格が予測つくものであれば予測したいと希望していた。そこで、オークション終了後、数日してオークションの落札価格が発表になるので、その発表されたオークション落札価格を見て、自らの経験で次回にオークション落札価格を予測するしか方法がなかった。

【0006】本発明の目的は、オークション未経験者でも簡単に、オークションに出品された全中古車に対して個別的に各中古車の車両データとそれぞれのオークション会場における出品された中古車に対する総合評価点に基づいて、各オークション会場における落札価格を適格に予測できるようにしようということにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】本願請求項1に記載の中古車のオークション落札価格の予測演算処理方法は、オークション会場に出品された中古車のメーカー名、車種、タイプ、初年度登録年月、排気量を特定し、当該オークション対象車の車種について予め記憶されたグレードの中から当該オークション対象車のグレードを選定し、前記メーカーの前記車種タイプ、前記グレードとして発売された予め記憶されているボディカラーの中から当該オークション対象車のボディカラーを選定し、当該オークション対象車のミッション、エアコンの有無、サンルーフの有無を特定すると共に当該オークション対象車の現走行距離を特定し、車検満了年月を特定することによってオークション対象車の特定を行い、当該オークション対象車に対して当該オークション会場で評価された評価点を入力し、前記オークション対象車の車種タイプ、初年度登録年月、グレード、ボディカラー、初年度登録年月からオークション出品時までの当該車種の基準走行距離、ミッション、エアコンの有無、サンルーフの有無に基づいて演算されて予め記憶されている基本価格を当該オークション会場の評価点に基づいて演算した基本オークション価格に、前記基準走行距離に対する前記オークション対象車のオークション出品時までの走行距離の多少に基づいて1km当りの加減算額に基づいた走行距離実績額及び前記オークション対象車のオークション出品時の残存する車検の期間の1月当りの加算額に基づいた車検残存期間加算額を加算して修正してオークション落札価格を予測するようにしたものである。このように構成することによって、オークションの未経験者であっても、簡単にオークションに出品された全中古車に対して個別的に各中古車の車両データとそれぞれのオークション会場における出品された中古車に対する総合評価点に基づいてそれぞれのオークション会場における落札価格を適格に予測することができる。

【0008】本願請求項2に記載の中古車のオークション落札価格の予測演算処理方法は、上記オークション会場を、大規模会場、中規模会場、小規模会場、メーカー系会場、テレビオークションのいずれかとしたものである。このように構成することによって、全国で行われる

中古車のオークションのほとんどを網羅することができる。

【0009】本願請求項3に記載の中古車のオークション落札価格の予測演算処理方法は、上記基本オークション価格を、上記各オークション会場毎に異なった価格としてオークション落札予測価格の算出基準としたものである。このように構成することによって、各オークション会場毎に異なる価格で落札されるオークション落札価格を各オークション会場毎により正確に予測することができる。

【0010】本願請求項4に記載の中古車のオークション落札価格の予測演算処理方法は、上記オークション落札予測価格に対して、落札予測下限価格と、落札予測上限価格を共に算出できるようにしたものである。このように構成することによって、オークションに出品されている中古車の良否の程度が判断できなくとも、また、オークションの未経験者であっても、予めオークション入札価格を落札予測下限価格からオークション落札予測価格までと指示しておけば希望する中古車を高値で落札することなく適正な価格で落札することができる。

【0011】本願請求項5に記載の中古車のオークション落札価格の予測演算処理方法は、予め記憶されている多数の製造メーカーの中からオークション対象車の製造メーカーを選択する製造メーカー選択手段と、前記製造メーカー選択手段において選択した製造メーカーに基づいて、予め記憶されている該製造メーカーの車種タイプの中からオークション対象車の車種タイプを選択する車種タイプ選択手段と、当該オークション対象車の初年度登録年月を入力する初年度登録年月入力手段と、当該オークション対象車の排気量を入力する排気量入力手段と、前記車種タイプ選択手段によって選択したオークション対象車の車種タイプに基づいて、予め記憶されている当該車種タイプに存在する複数のグレードの中からオークション対象車のグレードを選択するグレード選択手段と、前記グレード選択手段によって選択されたグレードに基づいて、予め記憶されている複数のボディカラーの中から当該オークション対象車のボディカラーを選択するボディカラー選択手段と、ミッションの種類を入力するミッション入力手段と、エアコンの有無、サンルーフの有無を入力するエアコン・サンルーフ入力手段と、製造メーカー、該製造メーカーの車種タイプ、初年度登録年月、排気量、グレード、ボディカラー、ミッションの種類、エアコン・サンルーフの有無に基づく基本データに基づいて演算された個別の基本価格を予め記憶しておく基本価格記憶手段と、オークション対象車のオークション出品時の現車走行距離を入力する走行距離入力手段と、車検満了年月を入力する車検満了年月入力手段と、当該オークション会場で評価された当該オークション対象車の評価点を入力する評価点入力手段と、前記基本価格記憶手段に記憶されているデータの中から前記製

造メーカー選択手段によってメーカーの入力、前記車種タイプ選択手段によって車種タイプの入力、前記初年度登録年月入力手段によって初年度登録年月の入力、前記排気量入力手段によって排気量の入力、前記グレード選択手段によってグレードの入力、前記ボディカラー選択手段によってボディカラーの入力、前記ミッション入力手段によってミッションの種類の入力、前記エアコン・サンルーフ入力手段によってエアコン・サンルーフの有無の入力に基づいて選択された基本価格を前記評価点入力手段によって入力される当該オークション会場の評価点に基づいて基本オークション価格を演算し、該基本オークション価格に、前記走行距離入力手段によって入力される基準走行距離に対して当該オークション対象車のオークション出品時までの走行距離の多少に基づいて1km当りの加減算額に基づいた走行距離実績額及び車検満了年月入力手段によって入力される車検満了年月に基づく前記オークション対象車のオークション出品時の残存する車検の期間の1月当りの加算額に基づいた車検残存期間加算額を加算して修正するオークション落札予測価格演算手段と、によって構成したものである。このように構成することによって、オークションの未経験者であっても、簡単にオークションに出品された全中古車に対して個別に各中古車の車両データとそれぞれのオークション会場における出品された中古車に対する総合評価点に基づいてそれぞれのオークション会場における落札価格を適格に予測することができる。

【0012】本願請求項6に記載の中古車のオークション落札価格の予測演算処理装置は、上記オークション会場を、大規模会場、中規模会場、小規模会場、メーカー系会場、テレビオークションのいずれかとしたものである。このように構成することによって、全国で行われる中古車のオークションのほとんどを網羅することができる。

【0013】本願請求項7に記載の中古車のオークション落札価格の予測演算処理装置は、上記基本オークション価格を、上記各オークション会場毎に異なった価格としてオークション落札予測価格の算出基準としたものである。このように構成することによって、各オークション会場毎に異なる価格で落札されるオークション落札価格を各オークション会場毎により正確に予測することができる。

【0014】本願請求項8に記載の中古車のオークション落札価格の予測演算処理装置は、上記オークション落札予測価格に対して、落札予測下限価格と、落札予測上限価格を共に算出できるようにしたものである。このように構成することによって、オークションに出品されている中古車の良否の程度が判断できなくとも、また、オークションの未経験者であっても、予めオークション入札価格を落札予測下限価格からオークション落札予測価格までと指示しておけば希望する中古車を高値で落札す

ることなく適正な価格で落札することができる。

【0015】

【発明の実施の形態】以下、本発明に係る実施の形態について説明する。図1～図15には、本発明に係る中古車のオークション落札価格の予測演算処理方法及び中古車のオークション落札価格の予測演算処理装置の一実施の形態が示されている。この中古車のオークション落札価格の予測演算処理方法及び中古車のオークション落札価格の予測演算処理装置は、自分が参加するオークション会場に於いて出品されている中古車のオークション落札価格を事前に予測し、購入を希望する中古車のオークション入札価格として参考にしようというものである。本発明に係る中古車のオークション落札価格の予測演算処理方法は、コンピュータによって処理されるもので、図1には、本発明に係る中古車のオークション落札価格の予測演算処理方法の一実施の形態を示す査定処理フローチャートが示されている。

【0016】図において、ステップ1において、図2に示す如き複数のオークション会場のタイプの中から、自分が参加しているオークション会場のタイプの選択を行う。オークション会場のタイプは、次に示す如く5種類に分類されている。

- ①大規模会場
- ②中規模会場
- ③小規模会場
- ④メーカー系会場
- ⑤テレビオークション

大規模会場は、全国の主要オークション会場で、中規模会場は、出品台数が1000台程度の会場で、小規模会場は、出品台数が500台程度の会場で、メーカー系会場は、メーカー系企業（例えば、トヨタ、日産等）が主催する会場、テレビオークションは、衛星放送を利用して参加者がテレビ画像のモニターを見ながら各中古車の価格入札を行うものである。

【0017】このステップ1においてオークション会場のタイプの選択（例えば、大規模会場を選択）を行うと、ステップ2において、現車の情報入力を行う。この現車の情報入力に当たっては、まず、メーカーの入力を行う。メーカーは、予め記憶されている複数のメーカー名（対象とする全メーカー、トヨタ、日産、ホンダ等）が図3に示す如く一覧表示され、この中から当該オークション対象車に該当するメーカー名を選択できるようになっている。この一覧表示されたメーカー名の中から当該オークション対象車の該当するメーカー名、例えば、トヨタを選択すると、当該メーカーから発売されている車種／タイプの選択に入る。車種／タイプの選択では、当該オークション対象車のメーカーの車種を示す頭文字を例えば『ク』を選択して、図4に示す如く、選択した頭文字（ク）に該当する全車種タイプの一覧表示を行う。この一覧表示された頭文字『ク』から始まる全車

種タイプの中から当該オークション対象車の車種タイプに該当する車種タイプ（例えば、クラウン・4ドアハードトップ）を選択する。次に、当該オークション対象車の初年度登録年月の入力を行う。この初年度登録年月は、年式を決定するもので、新車で購入したときに陸運局（関東地方であれば、関東陸運局）に登録した年月で、例えば、平成7年9月などである。この初年度登録年月を、当該オークション対象車について例えば、平成8年9月と入力する。また、排気量は、当該オークション対象車の排気量で、例えば、3000CCと入力する。

【0018】当該オークション対象車の排気量の入力を行うと、当該オークション対象車の車種／タイプ的全グレードについて図5に示す如く一覧表示を行う。ここで例として挙げたクラウン・4ドアハードトップ（初年度登録月：平成8年9月）のグレードは、5種類で、RサルーンGナビ+EMV、RサルーンG EMV、RサルーンG、Rサルーン、Rツーリングである。この当該オークション対象車の車種／タイプ的全グレードについて一覧表示を行うと、この一覧表示したグレードの中から当該オークション対象車に該当するグレード（例えば、RサルーンG）を選択する。当該オークション対象車のグレードの入力を行うと、当該オークション対象車のボディカラーの入力を行う。当該オークション対象車の車種／タイプ、グレードについての全ボディカラーについて図6に示す如く一覧表示を行う。ここで例として挙げたクラウン・4ドアハードトップ（初年度登録月：平成8年9月）・RサルーンGのボディカラーは、8種類で、シルバーメタリック、スーパーホワイトパールマイカ、スーパーホワイトII、ダークフォレストトーン、ダークブルーマイカ、ブラック、ダークグレーメタリック、シルキーシャイントーンである。この当該オークション対象車の車種／タイプ全ボディカラーについて一覧表示を行うと、この一覧表示したボディカラーの中から当該オークション対象車に該当するボディカラーを例えば、シルバーメタリックと選択する。ボディカラーの選択を終了すると、ミッションの種類、A/Cの有無、S/Rの有無の入力を行う。ミッションは、オートマチックか、マニュアルミッションかの選択をするもので、当該オークション対象車のミッションの種類、例えば、オートマチックを入力する。このミッションには、該当車種によってはオートマチックのみしか製造されていないものもある。A/Cは、エアコンで、標準装備としての有りとおプションとしての有りがある。S/Rは、サンルーフで標準装備としての有りとおプションとしての有りがある。当該オークション対象車のミッション（例えば、オートマチック）、A/Cの有無（例えば、有り）、S/Rの有無（例えば、無し）を入力すると、メーター状況の入力を行う。

【0019】このメーター状況の入力は、メーターを交換したことがあるか否かの交換履歴、メーターの表示を

戻す戻し歴有を見るためのもので、通常は正常となる。ここで当該オークション対象車についてメーター状況を例えば、正常と入力すると、現車走行距離と車検満了年月を入力する。現車走行距離は、当該オークション対象車のオークション出品時間までの総走行距離のことで、走行距離評価(Km評価)の基礎になるものである。この現車走行距離は、当該オークション対象車の基準走行距離(初年度登録年月日から現在の時点までに現車が走行する平均的な走行距離)を超えて走行している多走行の場合、当該オークション対象車の基準走行距離を超えない少走行の場合があり、この両者共にKmでの評価が行われる。この現車走行距離については、例えば、16,456Kmと入力する。また、車検満了年月は、実際に車検が満了する日で、当該オークション対象車が初年度登録年月から3年未満であれば、初年度登録年の3年後の応答日の前日、すなわち、例えば、初年度登録年月が平成8年9月であれば、車検満了年月は平成11年8月ということになる。当該オークション対象車に関する基礎データを入力すると、図7に示す如く、現車の情報入力完成する。

【0020】このステップ2において当該オークション対象車に関する基礎データの入力を行うと、ステップ3において、当該オークション対象車についての情報の必要事項の入力が終わったか否かの判定を行う。このステップ3において当該オークション対象車についての情報の必要事項の入力が終わったと判定すると、ステップ4において、図8に示す如く、車両の現状入力を行う。この車両の現状入力には、修復歴の有無、改造車であるか否か、全塗装の必要があるか否か、現状事故車か否か、外装の現状に問題があるか否か、内装の現状に問題があるか否か、電装品の現状に問題があるか否か、機関・足回りの現状に問題があるか否か、装備品の現状に問題があるか否かがある。このステップ4において車両の現状入力を行うと、ステップ5において、車両の現状に問題があったか否かを判定する。このステップ5において、車両の現状に問題があった、すなわち、修復歴有り、改造車、全塗装要、現状事故車、外装の現状に問題有り、内装の現状に問題有り、電装品の現状に問題有り、機関・足回りの現状に問題有り、装備品の現状に問題有りのいずれか1つ(例えば、外装の現状に問題有り)でも問題ありということになると、オークション落札予測価格を算出することができず、オークション落札参考価格の算定を行う。この算定に基づいてステップ6において、図9に示す如く、オークション落札参考価格の表示を行う。図9に示す如きオークション落札参考価格は、2,730,000円として表示される。このような欠陥を持つ中古車は、ユーザーの希望がどこにあるか(例えば、車両の現状入力で全く問題がない車を希望し、価格の如何に拘らず、修復歴有りは望まないという場合)不明で、このような車を落札すると不良在庫化する可能性

があり、リスクを負った入札になる。したがって、このように車両の現状入力に問題箇所がある場合、オークション落札予測価格は、あくまでも参考価格となってしまふ。

【0021】また、ステップ5において、車両の現状に問題がなかった、すなわち、修復歴無し、改造車でない、全塗装が不要、現状事故車でない、外装の現状に特に問題が無い、内装の現状に特に問題が無い、電装品の現状に特に問題が無い、機関・足回りの現状に問題有り、装備品の現状に特に問題が無いと判定すると、オークション落札予測価格の算出処理を行う。この算定結果に基づいてステップ7において、図10に示す如く、オークション落札予測価格が3,120,000円と表示される。このオークション落札予測価格(3,120,000円)とオークション落札参考価格(2,730,000円)との差は、車両の現状に問題があったことによるものである。このような欠陥を持つ中古車は、ユーザーの希望がどこにあるか(例えば、車両の現状入力で全く問題がない車を希望し、価格の如何に拘らず、修復歴有りは望まないという場合)不明で、不確定要素が多く、このような車を落札すると不良在庫化する可能性があり、リスクを負った入札になる。したがって、このように車両の現状入力に問題箇所がある場合、オークション落札予測価格は、あくまでも参考価格となってしまふ。

【0022】図10に示す如きオークション落札予測価格(3,120,000円)については、この価格がオークション落札価格に近いもので、あくまでディーラーの必要性との関係があるため、価格が下方にずれる場合も、上方にずれる場合もあり得る。すなわち、オークション落札価格は、多少の幅を持ったもので、本実施の形態においては、図11に示す如く、落札予測下限(3,069,000円)と落札予測上限(3,172,000円)と、図10に示す如きオークション落札予測価格(3,120,000円)に基づいて算出できるように構成されている。

【0023】ステップ6においてオークション落札参考価格の表示を行うか、ステップ7においてオークション落札予測価格の表示を行うと、ステップ8において、次車のオークション落札予測価格の処理を行うか否かを判定する。すなわち、連続してオークション対象車のオークション落札予測価格の処理を行う場合は、ステップ2に戻る。また、次車のオークション落札予測価格の処理を行わない場合は、フローを終了する。

【0024】このオークション落札予測価格は、同じメーカー、車種/タイプ、グレード、車検残であっても、図12に示す如く、現車走行距離が図7に示される16,456Kmより多走行の18,654Kmの場合で、図13に示す如く、総合評価点が4.0点の場合は、図14に示す如く、オークション落札予測価格は、

2,940,000円と図7に示される現車の情報入力におけるオークション落札予測価格(3,120,000円)よりも低くなっている。このオークション落札予測価格は、2,940,000円に基づいて算出される落札予測下限は、図15に示す如く2,889,000円で、落札予測上限は、2,992,000円となる。

【0025】次車のオークション落札予測価格の処理を行うと判定すると、ステップ2~4において図12に示す如く、。すなわち、連続してオークション対象車のオークション落札予測価格の処理を行う場合は、ステップ2に戻る。

【0026】

【発明の効果】本願請求項1に記載の発明によれば、オークションの未経験者であっても、簡単にオークションに出品された全中古車に対して個別的に各中古車の車両データとそれぞれのオークション会場における出品された中古車に対する総合評価点に基づいてそれぞれのオークション会場における落札価格を適格に予測することができる。

【0027】本願請求項2に記載の発明によれば、全国で行われる中古車のオークションのほとんどを網羅することができる。

【0028】本願請求項3に記載の発明によれば、各オークション会場毎に異なる価格で落札されるオークション落札価格を各オークション会場毎により正確に予測することができる。

【0029】本願請求項4に記載の発明によれば、オークションに出品されている中古車の良否の程度が判断できなくても、また、オークションの未経験者であっても、予めオークション入札価格を落札予測下限価格からオークション落札予測価格までと指示しておけば希望する中古車を高値で落札することなく適正な価格で落札することができる。

【0030】本願請求項5に記載の発明によれば、オークションの未経験者であっても、簡単にオークションに出品された全中古車に対して個別的に各中古車の車両データとそれぞれのオークション会場における出品された中古車に対する総合評価点に基づいてそれぞれのオークション会場における落札価格を適格に予測することができる。

【0031】本願請求項6に記載の発明によれば、全国で行われる中古車のオークションのほとんどを網羅することができる。

【0032】本願請求項7に記載の発明によれば、各オ

ークション会場毎に異なる価格で落札されるオークション落札価格を各オークション会場毎により正確に予測することができる。

【0033】本願請求項8に記載の発明によれば、オークションに出品されている中古車の良否の程度が判断できなくても、また、オークションの未経験者であっても、予めオークション入札価格を落札予測下限価格からオークション落札予測価格までと指示しておけば希望する中古車を高値で落札することなく適正な価格で落札することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る中古車のオークション落札価格の予測演算処理方法及び中古車のオークション落札価格の予測演算処理装置の一実施の形態を示す処理フローチャートである。

【図2】オークション会場の選択をするための図である。

【図3】メーカーを選択するための図である。

【図4】車種タイプを選定する図である。

【図5】グレードを選定するための図である。

【図6】ボディカラーの選定を行うための図である。

【図7】現車の情報入力画面を示す図である。

【図8】車両の現状入力画面を示す図である。

【図9】図7の現車の情報入力に基づいて、図8における車両の現状に問題がある場合のオークション落札参考価格の演算結果を示す図である。

【図10】図7、図8の現車の入力データに基づいて行ったオークション落札予測価格の演算結果を示す図である。

【図11】図10に示すオークション落札予測価格に対する落札予測下限価格と落札予測上限価格の演算結果を示す図である。

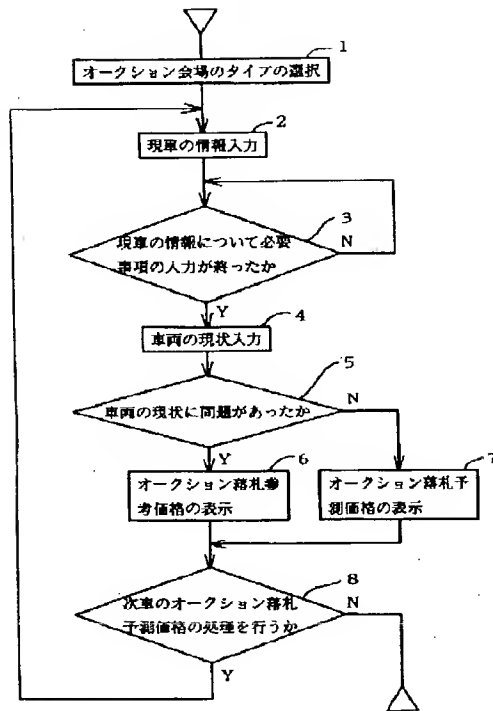
【図12】図7に図示のメーカー、車種・タイプ、グレード、ボディカラー、初年度登録年月と同種の車で、現車走行距離を異にする現車の情報入力画面を示す図である。

【図13】図12に図示の現車の車両の現状入力画面を示す図である。

【図14】図11、図12の入力データに基づいて行ったオークション落札予測価格の演算結果を示す図である。

【図15】図14に示すオークション落札予測価格に対する落札予測下限価格と落札予測上限価格の演算結果を示す図である。

【図1】



【図2】

## オークション会場の選択

1	大規模会場
2	中規模会場
3	小規模会場
4	メーカー系会場
5	テレビオークション

【図3】

ご希望メーカーの選択をして下さい。

TOYOTA	NISSAN ニッサン	MAZDA マツダ		ISUZU いすゞ
HONDA	SUBARU	SUZUKI スズキ	NISSAN 日野	



【図4】

<input type="checkbox"/>	クラウン	4ドアハードトップ
<input type="checkbox"/>	クラウン	セダン
<input type="checkbox"/>	クラウン	ワゴン
<input type="checkbox"/>	クラウン	バン
<input type="checkbox"/>	クレスト	セダン
<input type="checkbox"/>	グランビア	ワゴン

【図5】

グレード	エンジン 型 式	駆 動 方 式			定 員
		装 備	過 給 器		
<input type="checkbox"/> RサルーンGナビ+EMV	3000 DOHC E-JZS155	EFI PS, PW	2WD	4ドア	5
<input type="checkbox"/> RサルーンG EMV	3000 DOHC E-JZS155	EFI PS, PW	2WD	4ドア	5
<input type="checkbox"/> RサルーンG	3000 DOHC E-JZS155	EFI PS, PW	2WD	4ドア	5
<input type="checkbox"/> Rサルーン	3000 DOHC E-JZS155	EFI PS, PW	2WD	4ドア	5
<input type="checkbox"/> Rツーリング	3000 DOHC E-JZS155	EFI PS, PW	2WD	4ドア	5

【図6】

正式色名称	イメージカラー	
<input type="checkbox"/> シルバーメタリック	シルバー	銀
<input type="checkbox"/> スーパーホワイトパールマイカ	ホワイトパール	真
<input type="checkbox"/> スーパーホワイトⅡ	ホワイト	白
<input type="checkbox"/> ダークフォレストトーニング	ダークグリーンウート	濃緑
<input type="checkbox"/> デイブルーマイカ	ネイビーブルー	紺
<input type="checkbox"/> ブラック	ブラック	黒
<input type="checkbox"/> ダークグレーメタリック	ガンメタリック	鉄
<input type="checkbox"/> シルキーシャイントーニング	シルキーホワイト	白Ⅱ

【図7】

◆◆ 現車の情報入力 ◆◆ [大連海会協]	
メーカー	トヨタ
車種	クラウン
タイプ	4ドアハードトップ
初年度登録年月	平成 8 年 9 月
排気量	3000 cc
グレード	RサルーンG
ボディカラー	シルバーメタリック
ミッション	<input checked="" type="radio"/> オートマ <input type="radio"/> マニュアル
A/C有無	<input checked="" type="radio"/> 有り <input type="radio"/> 無し
S/R有無	<input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し
メーター状況	<input checked="" type="radio"/> 正常 <input type="radio"/> 交換済有 <input type="radio"/> 戻し済有
現車走行距離	16,456 Km
車検満了年月日	平成 11 年 8 月

【図8】

車両の現状入力	
修復歴	<input checked="" type="radio"/> 修復歴無し <input type="radio"/> 修復歴有り
改造車	<input checked="" type="radio"/> 改造無し <input type="radio"/> ドレスアップ改造 <input type="radio"/> 違法改造
全塗装	<input checked="" type="radio"/> 全塗装の必要無し <input type="radio"/> 全塗装歴有り <input type="radio"/> 全塗装の必要有り
現状事故車	<input checked="" type="radio"/> 事故車ではない <input type="radio"/> 事故車である
外装の現状	<input checked="" type="radio"/> 特に問題はない <input type="radio"/> 問題がある
内装の現状	<input checked="" type="radio"/> 特に問題はない <input type="radio"/> 問題がある
電装品の現状	<input checked="" type="radio"/> 特に問題はない <input type="radio"/> 問題がある
機関・足回りの現状	<input checked="" type="radio"/> 特に問題はない <input type="radio"/> 問題がある
装飾品の現状	<input checked="" type="radio"/> 特に問題はない <input type="radio"/> 問題がある
総合評価点 5.0 点	

【図9】

★ ★ A A 落札予測価格の表示 ★ ★			
メーカー	トヨタ	初年度登録	平成 8 年 9 月
車種	クラウン	車検満了	平成 11 年 8 月
タイプ	4ドアハードトップ	排気量	3000 CC
グレード	RサルーンG	エアコン	有 り
ミッション	4A フロア4速オートマチック	サンルーフ	無 し
ボディカラー	シルバーメタリック	メーター	正 常
発売期間	平成 8 年 1 月～平成 8 年 12 月	走行距離	16,456 Km
		総合評価点	2.0 点
NAIS A A 落札予測価格		2,730,000 円	

上記の価格は、下記の理由による減額分を除いた参考価格になります。

外装に問題がある

【図10】

★ ★ A A 落札予測価格の表示 ★ ★			
メーカー	トヨタ	初年度登録	平成 8 年 9 月
車 種	クラウン	車検満了	平成 11 年 8 月
タイプ	4ドアハードトップ	排 気 量	3000 CC
グレード	RサルーンG	エアコン	有 り
ミッション	4A フロア4速オートマチック	サンルーフ	無 し
ボディカラー	シルバーメタリック	メーター	正 常
発売期間	平成 8 年 1 月～平成 8 年 12 月	走行距離	16,456 Km
		総合評価点	5.0 点
NAIS A A 落札予測価格		3,120,000 円	

【図11】

★ ★ A A 落札予測価格の表示 ★ ★			
メーカー	トヨタ	初年度登録	平成 8 年 9 月
車 種	クラウン	車検満了	平成 11 年 8 月
タイプ	4ドアハードトップ	排 気 量	3000 CC
グレード	RサルーンG	エアコン	有 り
ミッション	4A フロア4速オートマチック	サンルーフ	無 し
ボディカラー	シルバーメタリック	メーター	正 常
発売期間	平成 8 年 1 月～平成 8 年 12 月	走行距離	16,456 Km
		総合評価点	5.0 点
NAIS A A 落札予測価格		3,120,000 円	
落札予測下限		3,069,000 円	
落札予測上限		3,172,000 円	

【図12】

◆◆ 現車の情報入力 ◆◆ [天理模金場]	
メーカ	トヨタ
車種	クラウン
タイプ	4ドアハードトップ
初年度登録年月	平成 8 年 9 月
排気量	3000 cc
グレード	RサルーンG
ボディカラー	シルバーメタリック
ミッション	<input checked="" type="radio"/> オートマ <input type="radio"/> マニュアル
A/C有無	<input checked="" type="radio"/> 有り <input type="radio"/> 無し
S/R有無	<input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し
メーター状況	<input checked="" type="radio"/> 正常 <input type="radio"/> 交換済有 <input type="radio"/> 戻し歴有
現車走行距離	18,654 Km
車検終了年月日	平成 11 年 8 月

【図13】

◆◆ 車両の現状入力 ◆◆	
修復歴	<input checked="" type="radio"/> 修復歴無し <input type="radio"/> 修復歴有り
改造車	<input checked="" type="radio"/> 改造無し <input type="radio"/> ドレスアップ改造 <input type="radio"/> 違法改造
全塗装	<input checked="" type="radio"/> 全塗装の必要無し <input type="radio"/> 全塗装歴有り <input type="radio"/> 全塗装の必要有り
現状事故車	<input checked="" type="radio"/> 事故車ではない <input type="radio"/> 事故車である
外装の現状	<input checked="" type="radio"/> 特に問題はない <input type="radio"/> 問題がある
内装の現状	<input checked="" type="radio"/> 特に問題はない <input type="radio"/> 問題がある
電装品の現状	<input checked="" type="radio"/> 特に問題はない <input type="radio"/> 問題がある
機関・足回りの現状	<input checked="" type="radio"/> 特に問題はない <input type="radio"/> 問題がある
装備品の現状	<input checked="" type="radio"/> 特に問題はない <input type="radio"/> 問題がある
総合評価点 4.0 点	

【図14】

★ ★ A A 落札予測価格の表示 ★ ★			
メーカー	トヨタ	初年度登録	平成 8 年 9 月
車 種	クラウン	車検満了	平成 11 年 8 月
タ イ プ	4ドアハードトップ	排 気 量	3000 CC
グレード	RサルーンG	エアコン	有 り
ミッション	4A フロア4速オートマチック	サンルーフ	無 し
ボディカラー	シルバーメタリック	メーター	正 常
発売期間	平成 8 年 1 月～平成 8 年 12 月	走行距離	16,456 Km
		総合評価点	5.0 点
NAIS AA落札予測価格		2,940,000 円	

【図15】

★ ★ A A 落札予測価格の表示 ★ ★			
メーカー	トヨタ	初年度登録	平成 8 年 9 月
車 種	クラウン	車検満了	平成 11 年 8 月
タ イ プ	4ドアハードトップ	排 気 量	3000 CC
グレード	RサルーンG	エアコン	有 り
ミッション	4A フロア4速オートマチック	サンルーフ	無 し
ボディカラー	シルバーメタリック	メーター	正 常
発売期間	平成 8 年 1 月～平成 8 年 12 月	走行距離	18,654 Km
		総合評価点	4.0 点
NAIS AA落札予測価格		2,940,000 円	
落札予測下限		2,889,000 円	
落札予測上限		2,992,000 円	